

【伝えたい！授業づくりの基礎・基本Ⅱ】NO. 23 生活科編北海道生活科・総合的な学習教育連盟（磯島年成会長）生活科 授業改善のポイント （伝えたい！授業づくりの基礎・基本 2018-10-24付）



動物園と連携したモルモットの抱っこ体験活動。この体験を基に、飼育活動へつなげていく

◆気付きを見取り、つなげ、深い学びへ

生活科における「深い学び」は、「気づきの質を高める」ことである。児童の気付きを見取り、つなげ上げることが「深い学び」への入り口なのである。今回は、気づきの質を高めるための授業改善について紹介する。

ポイント1 意欲を引き出す体験活動を位置付ける

生活科は「体験を通して学ぶ」ことが重要視されていることから、質の高い体験活動を単元に位置付けることが、学習を成功させる最も重要な要素である。

例えば、内容（6）「自然や物を使ったおもちゃづくり」の際には、ペットボトルや空き缶などをたくさん準備し、素材その物を使ってたっぶり遊ばせる体験活動を導入に位置付ける。素材を使って遊ぶ中で、子どもたちは「ペットボトルのキャップを使った車を作りたい」「うちわで扇ぐと進む船を作りたい」など、一人一人が思いや願いをもち意欲的に取り組むようになる。子どもたちは活動に没頭する中で、学習のエネルギーを醸成していくのである。

ポイント2 体験活動と表現活動を行きつ戻りつする

体験を通して、児童は様々な気付きをもったり、表出したりする。単元を構築する際には気付きを表現する「振り返り」の場面を意図的に設定したい。

例えば、内容（3）「町探検～おためし探検～」に出かけた後に「振り返り」を設定する。児童の気付きには「パン屋さんがあった」「病院があった」など施設への着目が多く見られる。その中で「パン屋の店員さんがパンを並べていた」「ガソリンスタンドの人が大きな声で挨拶をしていた」など「ひと」に着目している児童もいる。全体交流の場面で、「ひと」に着目した振り返りを取り上げることで、「どんな仕事をしているのか見てきたい」「どんな人が働いているのか会ってみたい」など「もの」から「ひと」へ視点を変換することができ、次の体験活動への意欲を喚起することができる。大切なことは「何のために振り返らせるのか」の目的意識を教師が明確にし、体験活動と表現活動を行きつ戻りつする相互作用を意識した単元を構築することである。

ポイント3 多様な学習活動で気づきの質を高める

学習指導要領にもあるように「見付ける・比べる・たとえる・試す・見通す・工夫する」などの多様な学習活動を取り入れた授業を展開し、気付いたことを基に考えることで、新たな気づきを生み出し、気づきの質を高める深い学びにもつなげることができる。

例えば、内容（9）「自分の成長に気付く学習」では、幼い頃に着ていた服や靴などを準備し、現在の自分の体と「比べる」ことで、身体が大きく成長したことに気付くであろう。内容（7）「小動物を飼育する活動」では、小動物の心臓の動きと聴診器で調べた自分の心臓の動きを比べることで、「小動物も人間と同じように心臓が動いて生きている大切な命なんだ」と気付くことができるであろう。既知の気づきを基に、多様な学習活動を通して思考することで、新たな気づきが生まれ、気づきの質の高まりへとつながっていくのである。

各種記事

国

道・道教委

道議会

札幌市

市町村

関係団体

学校

人事

連載・特集

メンタルヘルス

伝えたい！授業づくり

かわかりが難しい児童生徒

教職員の協力を高める

教育研究団体に聞く

一般公開記事

解説

コロナウイルス関連

記事検索

検索

関係団体

・札幌市立高・特事務職員会が研究会大会 自己研鑽の場として 学校経営事務充実...

(2025-01-11)

・働き方改革で高・特7校Gが発表 ネットバンク 導入など提案 ウェルビーイ...

(2025-01-10)

・個別最適・協働的学び 一体的授業改善を 後期研究協で宮澤会長あいさつ 道...

(2025-01-10)

・新たな時代へ会員一丸道特長 冬季研究協議会 人材確保や管理職育成など課題...

(2025-01-10)

・札幌日信電子に感謝状 札幌市絵本基金寄付で

(2025-01-10)

・道高校長協会 6年度後期研究協 「メタ認知」欠かさない働きやすい職場へ...

(2025-01-09)

・留萌建協萌志会 高校生招き 建設業の先端技術紹介 STEAM教育体験会開...

ポイント4 表出されない子どもの気付きを見取り「深い学び」へ誘う

児童の中に生まれた気付きは必ずしも自発的に表現されるとは限らない。低学年の時期は、書いて表現させることも大切であるが、文字表現がつかないことも考えられるので、音声言語で表現したことを教師が聞き取り、記録することも大切である。そうして蓄積した気付きを授業で関連付けることが気付きの質を高め「深い学び」へと誘う。

例えば、内容（6）「動くおもちゃづくり」で「速く走る車を作りたい」との願いをもち、個人で試行錯誤する中でいくつもの気付きが生まれる。「タイヤの数を増やす」「土台を丈夫な物にする」「タイヤを付ける位置を前にする」などの個の気付きを全体で交流する中で、「タイヤの位置と土台の重さが速く走るための秘密なんだ！」と気付く。これまで「素材と取り付ける位置」をバラバラにとらえていた児童も、「組み合わせることが速く走らせるコツなんだ！」と考えるようになる。個の気付きをつなぎ合わせることで気付きの質が高まる。

ポイント5 カリキュラム・マネジメントの視点に立ち生活科を考える

「スタートカリキュラム」については、一単位時間の授業内容を弾力的に運用し、幼児教育との資質・能力を重視した接続を円滑にする視点は欠かせない。また、他教科・他領域と関連させ、総合的に指導する視点も大切である。国語や図工で身に付けた力を生活科で発揮する場面を設定したり、生活科で身に付けた力を国語や図工で発揮したりするなど、教科等横断的に資質・能力を発揮する場面を意図的に設定する。教師自身が広い視野をもって生活科の学習を構築することが、児童の学びの世界を広げることにつながるのである。

（北海道生活科・総合的な学習教育連盟旭川地区 旭川市立緑が丘小学校 主幹教諭 植村博行）

※今回は、「総合的な学習の時間編 探究的な学習 充実のポイント」を掲載します。

（伝えたい！授業づくりの基礎・基本 2018-10-24付）

[前のページへ](#) [ページの先頭へ](#)

その他の記事(伝えたい！授業づくりの基礎・基本)

【伝えたい！授業づくりの基礎・基本Ⅱ】NO. 2 8道徳科④北海道道徳教育研究会（鹿野内憲一会長） 「考え、議論する道徳と評価、のポイント」

一定の期間ポートフォリオをためた形（例）

道徳科（特別の教科）	道徳科（特別の教科）	道徳科（特別の教科）	道徳科（特別の教科）	道徳科（特別の教科）	道徳科（特別の教科）
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

授業者が人としての姿を捉え、ある一定期間の多くを占める中で特に成長の様子が見られる授業の記録をまとめることができます。

◆共感や客観的に捉えさせる学びを大切に ◎道徳科における評価 特別の教科 道徳（以下、道徳科）の評価について、すでに実際の通知表での文例が様々な雑誌や書籍で紹介されて

いるが、今一度道徳...

（2018-11-05） [全て読む](#)

【伝えたい！授業づくりの基礎・基本Ⅱ】NO. 2 6道徳科②北海道道徳教育研究会（鹿野内憲一会長） 教科書教材を活用するポイント



◆授業を子どもと作る視点を大切に 今年度から、小学校では道徳の時間が「特別の教科」となった。多くの教師が教科書を中心に週1時間の実践を積み重ねてきている。しかし、実践の中心となる教科書に...

（2018-10-31） [全て読む](#)

【伝えたい！授業づくりの基礎・基本Ⅱ】NO. 2 7道徳科③北海道道徳教育研究会（鹿野内憲一会長） 指導と評価の一体化におけるポイント



◆記録の累積化・生徒の振り返りを生かす ◎大切なのは授業 中学校で平成31年度から始まる「特別の教科 道徳（道徳科）」において、多くの先生方が最も不安に思っているのは、評価であろう。ど...

（2018-11-02） [全て読む](#)

【伝えたい！授業づくりの基礎・基本】NO. 25 道徳科①北海道道徳教育研究会（鹿野内憲一会長） 板書づくりのポイント



◆構造的板書を生かし、深い学びを目指す いよいよ、道徳の教科化が始まった。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「考え、議論する道徳」へと、質的転換を図ることが求められている。授業で...

（2018-10-29） [全て読む](#)

【伝えたい！授業づくりの基礎・基本Ⅱ】NO. 24 総合的な学習の時間編 北海道生活科・総合的な学習教育連盟（磯島年成会長） 探究的な学習 充実のポイント

◆授業の基本原理を重視した単元づくりを 総合的な学習の時間における「深い学び」は「探究の過程」が主体的に繰り返され、

【伝えたい！授業づくりの基礎・基本Ⅱ】NO. 22 英語科編③北海道中学校英語教育研究会（中村邦彦会長） 教科書の題材活用のポイント

◆教科書を使って4技能の統合を図る ポイント1 入門期に英語学習の基礎を作る 1年生の1学期に小学校と中学校の接続を意識した授業づくりを行う。外国語活動を経験してきた生徒たちは発音が上...

（2025-01-08）

・謹賀新年 新春インタビュー
北教組 山谷一夫中央執行委員長
に聞く

（2025-01-01）

・十勝管内教育研究サークル協
研究会 子を主語に探究的学び
上土幌小・中で...

（2024-12-25）

・自らの可能性信じ挑戦 慶應高
野球部監督が講演

（2024-12-24）

札幌市

・札幌市教委 不登校対策連絡協
誰かが気にかけて 支援の在り
方など意見交換

（2025-01-10）

・1月 札幌市青少年科学館イ
ベント日程

（2025-01-10）

・札幌市 第2期スポーツ推進計
画 総合型地域クラブ構築 検
討本格化へ 15...

（2025-01-09）

・札幌市 若者支援施設アンケー
ト 類似施設支援 8割が未利
用 気軽に立ち寄...

（2025-01-09）

・「家庭での学習」の充実を図る
元校長の“学校アップデート！”
No.2 2

（2025-01-08）

・札幌市教委 人間尊重教育フォ
ーラム 自治的な活動を提案
サミットの経験糧...

（2025-01-08）

・パラノルディックスキー選手
パラ競技の魅力PR 札幌厚別
南児童会館を訪問

（2025-01-08）

・持続可能なまち目指し 秋元札
幌市長 年頭所感

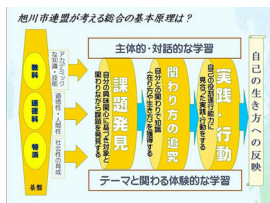
（2025-01-08）

・札幌山の手支援 お仕事体験会
自宅で働く選択肢も テレワー
ク就労に動しむ

（2025-01-07）

・札幌市 川の学習パネル展 1
0小学校の成果紹介 防災や水
生生物等の調査を...

（2025-01-07）



子どもが探究課題に関わる概念を獲得し、社会参画を目指していく姿のことで...

(2018-10-26) 全て読む



(2018-10-22) 全て読む

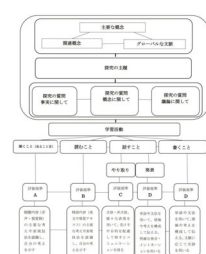
【伝えたい！授業づくりの基礎・基本Ⅱ】NO. 2 1 英語科編②北海道中学校英語教育研究会（中村邦彦 会長）豊かな表現力を育成するポイント



◆「表現できた」と喜びのある授業を 現行の学習指導要領では、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域を総合的に育成することをねらいとして英語科における目標が設定されている...

(2018-10-19) 全て読む

【伝えたい！授業づくりの基礎・基本Ⅱ】NO. 2 0 英語科編①北海道中学校英語教育研究会（中村邦彦 会長）国際バカロレア（IB）の枠組みを活用した課 題探究的な学習



◆深い学びへ導く“探究・行動・振り返り” ◎はじめに 新学習指導要領においては、外国語（英語）科の指導においても大きな変革を求められている。学習の基盤となる資質・能力においても言語能力...

(2018-10-17) 全て読む

【伝えたい！授業づくりの基礎・基本Ⅱ】NO. 1 9 音楽科中学校編 北海道音楽教育連盟（横山学会 長）音楽的な見方・考え方を働かせた授業のあり方



◆他者とのかかわりを効果的に活用して 「音楽的な見方・考え方」については、学習指導要領の解説で次のように示されている。「音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とそ...

(2018-10-15) 全て読む

【伝えたい！授業づくりの基礎・基本Ⅱ】NO. 1 8 音楽科小学校編 北海道音楽教育連盟（横山学会 長）器楽の学習を充実させるポイント



◆客観的に演奏をとらえさせる手立てを ◎器楽の学習で陥りやすい教師の一方向的指導 小学校では、1年生から鍵盤ハーモニカ、3年生からはリコーダーを用いて器楽の学習を行っている。鍵盤ハーモ...

(2018-10-12) 全て読む

[前のページへ](#) [ページの先頭へ](#)

株式会社 **北海道通信社**

ホームページ内に掲載の記事、写真などの一切の無断転載を禁じます。

利用案内 | 購読案内 | 使用方法 | 利用規約 | 個人情報 | 書籍案内
企業情報 | サイトマップ | 採用案内（建設版ページ内）
ビル案内 | DOTSU-NET 建設版